吉 1932. 10. 30, TNS), *川上村（友金藤吉 1932.10.30, KYO）；〔湯本-4〕新庄村毛無山（田代善太郎 1930.10.10, KYO）；〔勝山-1〕勝山町神庭の滝（津田 1930.10.8, KYO）；〔皆部-3〕石蟹郷村幸田（吉野善介 1913.10.11, TI), 石蟹郷村井倉（吉野善介 1913.10.-, TNS), 幸田（吉野善介 1916.10.-, TI), 新見市谷合（原 寛・黒沢幸子 1975.10.28, TI)；〔上岩見-1〕花見山（田代善太郎 1930. 7. 29, KYO）；〔上岩見-3〕野原スキー場（西原札之助 1950. 9. 16, TNS)；〔新見-1〕川瀬（吉野善介 1912.11.18, TI), 上市村川ノ瀬（吉野善介 1912.11.-, KYO), 上市村川ノ瀬（吉野善介 1914. 8. 8, KYO), 上市村川ノ瀬（吉野善介 1915.10.-, TI), 上市村川之瀬（北村四郎 1936.11.24, KYO), 新見市阿哲峡（福岡誠行・黒崎史平 1975.10.1, KYO), 新見市川之瀬（福岡誠行・黒崎史平 1978.9.1, KYO)；〔新見-2〕*新砥村（―― 1935.8.12, KYO).

広島県：〔新見-4〕東城町河内～哲西町川西, 280～350m alt.（黒崎史平 1987.9.26, TNS)；〔庄原-2〕帝釈（――1931.8.上旬, TNS), *帝釈峡（北村四郎 1931.11.17, KYO), *帝釈峡（富山 1963.8.21, KYO）*帝釈峡（高藤 1968.9.12, KYO), 神石町帝釈峡（古瀬 1976.10.29, KYO)；〔三段峡-1〕三段峡（佐藤達夫 1963.10.10, TNS), 戸河内町三段峡（北村四郎 1967.10.27, KYO)；〔三段峡-2〕*吉和村（田代善太郎 1937.9.15, TNS)；〔津田-3〕安芸冠山（津山 尚 1932.8.8, TI).

山口県：〔津田-3〕高根村寂地山（岡 国夫 1949.9.1, KYO)；〔岩国-3〕周東町高森, 上川上（御江久夫 1954.10.19, KYO)；〔鹿野-3〕鹿野町大平（御江久夫 1952.9.5, KYO)；〔徳佐中-4〕阿東町長門峡, 湯瀬～銅（村田 源・岩槻邦男 1970.10.10, KYO)；〔長門峡-1〕柚野村牛頭山（岡 国夫 1951.8.31, KYO), 滑山国有林（奥山春季 1970.10.6, TNS)；〔長門峡-3〕*川上村長門峡（岡 国夫 1968.11.11, KYO)；〔山口-2〕山口市法泉寺（岡 国夫 1949.10.14, KYO), 山口市法泉寺梅峯の瀧（中井猛之進・丸山尚敏 1949.10.14, TNS)；〔小郡-1〕**山口市鼓の滝（岡 国夫 1949.11.3, 山口県立博物館）岡ほか (1972) より.

新 刊

□Rajbhandari K. R.: **A Bibliography of the Plant Science of Nepal** 247 pp. 1994. 自費出版. Rs.900（送料別).

ネパール植物研究のための文献目録と索引である. 著者ケシャブ・ラジバンダリ氏はカトマンズのトリブーバン大学からゴダワリの植物調査所へ移籍し, 日本への留学や何回ものヒマラヤ調査への同行で, われわれになじみの植物研究者である. 3-164頁は目録で, 約2500件の文献が第一著者のabc順に並ぶ. 摘要がついたものが多い. 共著者でも参照先がわかるようにしてある. 165-205頁が項目索引であるが, その見出し語は実に多様である. たとえばAgriculture, Anatomy, Apple, Chromosome number, Fodder trees, Tannin, Thesis, Vegetation, Virusといった具合で, 検索の対象となりそうな単語がみんな見出しとなっている. 206-218頁は地域索引で, 報文の対象となった地名をabc順に並べ, 関係する文献を示す. 219-244頁は学名索引で, 属または種を見出しとして関係文献を列挙する. これらの索引ではほとんどの文献について, 1～数語の内容紹介がついているので, 一々目録に戻らなくても, ときには目録ではわからない内容を知ることができる. 補遺が3頁ついている. 著者の丹念な性格を示す労作で, ネパール植物研究にたいへん有用な必携書である. 原稿作りと出版は著者夫人の手になる. 入手については下記の著者自身に連絡するとよい. National Herbarium and Plant Laboratories, Godawari, Kathmandu, Nepal. （金井弘夫）

□石川県地域植物研究会（編）: **石川県樹木分布図集** 489 pp. 1994. 石川県林業試験場. ￥6,000＋送料￥800.

石川県の樹木447種類の水平分布図および南北方向の垂直分布図を示す, B5版1頁に1種類という贅沢な配置だが, 分布図は地域の形に制約されるので, 四角い頁に効率よく収めるのがむづかしい. 分布点は5倍地域メッシュ（1/2.5万図の

1/4）で表示されている．各頁にはその種類の日本全体の分布や後述の分布型などが簡単に記されている．巻末に古池 博氏による県内の分布型の詳細な検討結果が述べられている．これはメッシュデータの利点を生かし，水平垂直のいくつかの区分に出現する分布点数を数値処理して判定するもので，十分なデータ量と植生地理学的知識の上にはじめて可能となったものである．分布型は0型から8型まであり，さらにその中が，多いものは9型にも細分されている．分布と環境諸要因の関連を理解するために，地形，水系，高度，気象諸要素などの分布を印刷した透明シート10枚が付けてある．本書の作成は1985年以来10年をかけ，原則として標本に基づき，引き続いて草本も目指すとのことで，新潟県植物分布図集とともに，日本海地域フロラの解明に大きく貢献するものである．地図は県の海岸線と県境だけを几帳面に描いたものだが，全体の理解のためには隣接地域も書き込んだ方がよい．とくに能登半島の富山県側が欠けているのは不自然である．この部分を書き入れても，図の配置には影響しない．またメッシュは省いて経緯度線数本にとどめ，代わりに等高線をいれた方が分布図としては見やすいと思う．本質には関係ないことだが，まだ先の計画があるとのことなので，検討いただきたい．購入希望者は右に連絡されたい．921 金沢市泉野出町 3-10-10 金沢泉丘高等学校・本多郁夫（tel. 0762-41-6117 fax. 0762-45-5253）． （金井弘夫）

□高橋 文（訳）・C. P. ツュンベリー：**江戸参府随行記** 406 pp. 1994. 平凡社東洋文庫. ¥2,987.

ツュンベリーは日本植物の研究者であり，ヨーロッパへの紹介者であることはもちろんだが，日本そのものの紹介者でもある．本書は彼の旅行記の中から日本に関する部分を，スウェーデン語から直接訳したものである．前半の約200頁が日本到着，出島滞在，江戸への往復の旅行記にあてられている．植物の記述もさることながら，道中や滞在地の景観，風俗がこと細かに描写され，日本人ではかえって見過ごしてしまう当時の貴重な記録となっている．次の120頁は日本と日本人をいろいろの観点から紹介記述している．これはもとよりヨーロッパの極東政策に利するためのものではあるが，自然ばかりでなく，統治，法律と警察，日本語，商業，宗教など，多くの視点から論じたものである．日本語の項では，自分で日本語を覚える努力はしたものの，それまでの200年にわたってたくさんのオランダ人が滞在したのに，役にたつ日本語語彙集がつくられていないことに不満をのべている．もっとも，日本語を習うのは国禁だったようだ．飲物はお茶と酒しかなく，葡萄酒や蒸留酒は決して飲まず，コーヒーの味のわかる通詞などおらず，火酒が日本人の必需品となることは決してないとしている．無理もないが，焼酎は試みなかったようだ．暦の比較，一日4回かかさず行った気温観測の記録，日本の道具類のスケッチが，資料としてついている．最後に木村陽二郎氏，片桐一男氏が，それぞれの立場からまとめの文を添えている．植物の面ばかりでなく，自然誌，文化史，民俗資料としても有用な翻訳をされた高橋氏の努力を多としたい． （金井弘夫）